

## I 「本校が目指す姿」

### ① 学校の現状や課題

本校は、平成25年4月、秋田県立能代北高校と能代市立能代商業高校を統合して、普通科、国際コミュニケーション科及び情報ビジネス科の3学科を有する総合制高校として開校し、令和4年に創立10周年を迎えている。今後も中学校卒業生数が減少するなか、各学科の特色をこれまで以上に出し、どのように発展させていくかが課題である。

#### ○ 普通科

地域社会で活躍できる人材を育成する。普通教科を中心に学習し、表現する力を磨き、総合的な教養と社会性を培う。進路は国公立大学や私立大学の文系・理系、医療系への進学その他、多様な進路希望の実現を目指す。

#### ○ 国際コミュニケーション科

国際社会で活躍できる人材を育成する。英語や国際教育を重視し、実践的な英語コミュニケーション能力と豊かな国際感覚を培う。進路は国公立大学や私立大学の文系に進学することを目指す。

#### ○ 情報ビジネス科

産業社会で活躍できる人材を育成する。簿記や経済、情報など広く商業について学習し、ビジネスの知識や技術を身に付け、高度な資格を取得する。進路は4年制大学への進学その他、専門学校への進学や県内外の就職などに広く対応する。

### ② 学校を取り巻く将来の状況の予測

第七次秋田県高等学校総合整備計画により、能代工業高校と能代西高校が統合し、能代科学技術高校が開校した。また、二ツ井高校と能代工業高校定時制課程が再編され、能代高校に昼間部の定時制課程として開設されたため、本地区の高等学校は3校となった。

能代山本地区の中学校卒業生数は、令和6年3月までは500人台を維持するが、令和7年以降は400人台、さらに令和11年には300人台まで落ち込むことが予測されている。

### ③ スクール・ポリシー（三つの方針）

#### （i）グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

基本理念「グローバルな視野で未来を切り拓く力を持つ人間の育成」

○自主・創造・協働の校訓の下、進路希望の実現に向け、各学科・各教科の学習を主体的、総合的、探究的に学び、様々な課題を関連付けて考えることができる資質や能力を育む

○グローバルな視野とコミュニケーション能力を身に付け、地域や国際、産業社会に貢献できる資質や能力を育む

#### （ii）カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

○ 進路目標に沿って科目を選択できるカリキュラムを編成する

○ 多様な高等教育機関への進学をサポートする

○ 英語に加え第2外国語を設置し、実践的な国際教育を行う

○ 地域課題の解決策を追究するとともに、高度情報化社会に対応できる人材を育成する

#### （iii）アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

1 主体的に夢に向かって歩む生徒

2 国際感覚やコミュニケーション能力を身に付けた生徒

3 心身ともにたくましく、創造性ゆたかな生徒

## Ⅱ 「5年間を通しての具体的な目標と取組」

### ① 5年間を通しての具体的な目標

- 国公立大学進学者数 15名超
- 進学希望者の入試合格率 90%超（延べ人数）
- 就職決定率 100%
- すべての部活動が上位大会（東北大会以上）出場
- 上級資格取得者
  - ・ 実用英語技能検定2級合格者 20名
  - ・ 日商簿記検定2級または全商簿記検定1級合格者 20名
  - ・ 全商情報処理検定1級合格者 20名
  - ・ 全商商業経済検定1級合格者 20名

### ② 目標を達成するための具体的な方法、取組等

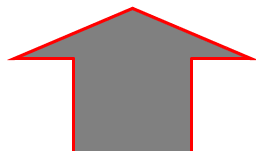
- 生徒指導の充実
  - ・ 「こころ 姿 振る舞い さわやか松陽生」運動により、明るく元気なあいさつ、品位ある整容、社会のマナーを身に付けさせる。
  - ・ 生徒一人ひとりが他を思いやり、いじめのない学校生活を送る環境づくりを推進する。
- 指導力向上と学力向上
  - ・ 組織的な校内研修の充実による授業力の向上
  - ・ シラバスの効果的利用による自己学習力の向上
  - ・ 課外講習及び、ICTを活用した教科指導の充実
- 進路指導の強化
  - ・ 全体計画に基づく組織的・系統的なキャリア教育の実践
  - ・ 生徒・保護者に対する情報提供の充実
  - ・ 進路行事の充実とポートフォリオ蓄積の推進
  - ・ 探究活動の充実とインターンシップなどの体験的活動の推進
- 国際教育の推進
  - ・ ICTを活用した語学教育の充実
  - ・ 環日本海地域との交流を意識した、第2外国語（中国語・韓国語・ロシア語）教育の充実
  - ・ 海外研修の実施と国際交流の推進
  - ・ 実用英語技能検定をはじめとした各種英語検定試験への積極的な挑戦
- ビジネス教育の充実
  - ・ 総合的な探究の時間を活用したビジネス実践
  - ・ 地域企業と連携した商品開発や販売、地域資源を生かした観光商品の開発
  - ・ 高度な検定取得への挑戦
- 地域社会との連携
  - ・ デュアルシステムによる長期企業実習の推進
  - ・ 地域貢献活動や企業実習による地域理解の充実と勤労観・職業観の育成

国公立大学合格 15名超

進学希望者の入試合格率 90%超

就職決定率 100%      上級資格取得 各20名

すべての部活動が上位大会に出場



グローバルな視野で未来を切り拓く力を持つ人間の育成

生徒指導の充実

指導力向上と学力向上

進路指導の強化

国際教育の推進

ビジネス教育の推進

地域社会との連携

さまざまな活動を通して目標達成を目指す

令和3年4月策定  
令和5年5月一部改訂